

## 円柱材の防腐処理

円柱材をさまざまな用途に使用する際、狂いとか割れ以外に腐れを防ぐことが重要な問題です。特に雨水などの滞留しやすい部分や土に接する部分は最も腐れやすいところですので、防腐処理が不可欠です。そこで防腐処理について簡単に説明します。

円柱材を製造する際に、防腐剤の浸透しやすい辺材部分が削り落とされてしまいますので、基本的な処理方法としては加圧注入が適切です。この時使用する防腐剤はクロム 銅 砒素系（CCA）の水溶性のものです。これを加圧注入缶の中で圧力をかけて木材中に注入します。注入してから1カ月程乾燥しておけば、注入されたCCAは不溶化して雨水などにさらされても溶脱することはありません。処理する前にできるだけ乾燥しておく、より良い注入結果が得られます。

処理された円柱材では、外側に数ミリの薬剤層が形成されますので、外側から侵入する木材腐朽菌をシャットアウトし腐れを阻止することになります。耐用年数は数倍にのびるでしょう。なお、円柱材の一端を地中に埋め込む場合などに地際部分には油性防腐剤で追加塗布をしておけば、より一層防腐効果が向上することになります。

ところで、遊具や山荘などでCCA処理材を使った時、害毒があるのではないかという心配もあります。この点は、イギリス、ニュージーランド、オーストラリアなどで様々な検討をし、全く問題はないという結論を出しています。ただし、処理材を換気のない場所で燃やすとかヤスリがけするなどは避けるべきです。処理材表面に固着しないで残されている薬剤は十分洗浄してから使用することが肝要です。

（土居修一）